

□計画の基本方針

『横瀬町のシンボルとして将来にわたり親しまれ、
使いやすく、快適で、長寿命な校舎』

■歴史と記憶の継承 …町のシンボルとしての校舎

既存木造校舎を大切に活かし、新たな町のシンボルとなり、
世代を超えて多くの町民に親しまれる校舎とします。

■周辺環境との調和

既存木造校舎に合わせて高さを低く抑え、勾配屋根をかけ、
街の景色や周囲の山並みとの調和を図ります。

■豊かな学習環境

校舎をコンパクトにまとめ、各教室を短い動線で結びます。
児童が主体的に学べる、楽しく魅力的な学習環境とします。

■健康で快適な校舎

普通教室は全て南向きとし、快適に過ごせる校舎とします。
内装に地元の木をふんだんに使用し、温かな空間とします。

■安全安心の確保

職員室を校舎の中央に配置し、児童を見守りやすくします。
シンプルでわかりやすいつくりとし、避難も容易にします。

■地域との連携

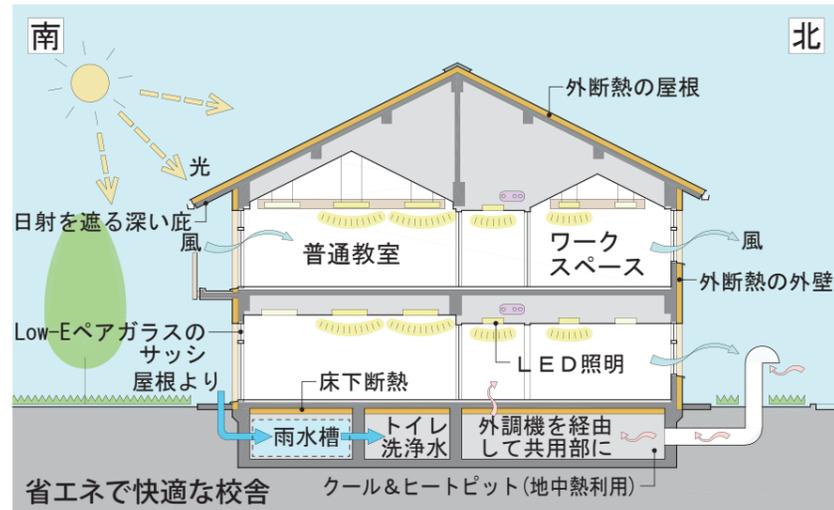
アプローチや駐車場を使いやすく整え、バリアフリー化に
対応します。図書室や会議室の地域利用を可能にします。

■ライフサイクルコストの最小化

コンパクトでシンプルな使いしやすい校舎とし、維持管理の
負担が少なく、省エネで長寿命なつくりとします。



既存の木造校舎を中心に短い動線でまとまる校舎。町民の記憶を紡ぐ横瀬町のシンボル。



■外断熱と自然エネルギー利用による省エネ校舎

●普通教室を南面させ、十分な採光・通風を確保します

…普通教室は自然光をコントロールしやすい南向きとし、北側は連続した
ワークスペースとして採光と通風を確保します。

●『外断熱』により省エネで快適な校舎とします

…校舎全体を外断熱し、コンクリート躯体の蓄熱効果により良好で安定した
室内温度環境を省エネルギーで実現します。

…コンクリート躯体を外気温変化から守り、耐久性を向上させます。

…外断熱と併せて庇とLow-Eペアガラスによる日射遮蔽を行います。

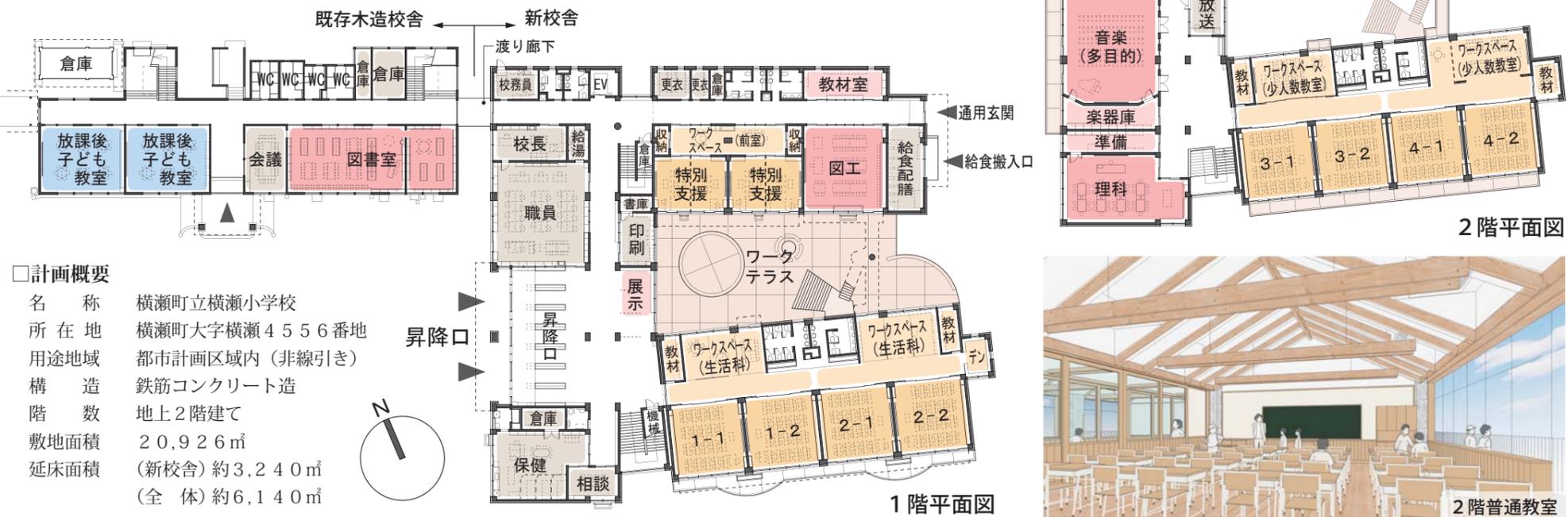
●管理が容易で効果の高い自然エネルギー利用を行います

…**地中熱利用**：共用部への導入外気をクール&ヒートピットで予冷予熱し、
空調負荷を低減します。

…**雨水利用**：屋根に降った雨水をピットに貯留し、トイレ洗浄水に用います。



1階ワークスペース



□計画概要

名称	横瀬町立横瀬小学校
所在地	横瀬町大字横瀬4556番地
用途地域	都市計画区域内（非線引き）
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階建て
敷地面積	20,926㎡
延床面積	(新校舎)約3,240㎡ (全体)約6,140㎡



2階普通教室